

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

前第4四半期連結会計期間において、企業結合による暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間との比較・分析に当たっては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させた金額によっております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復傾向が続いております。一方で、米国における関税政策や、中東情勢の不安定化等の不確実性が金融・為替市場に与える影響も懸念されており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である情報サービス産業を取り巻く環境については、企業収益の改善傾向が続く中、人手不足対応やデジタル化に向けたソフトウェア投資を中心に、企業のIT投資への意欲は底堅く、IT投資需要は引き続き拡大することが期待されます。当社グループの属する国内CMS市場においてもWebサイトの重要性が増してきていることから、WebマーケティングやWebに関わる業務改善についても興味・関心をもたれる企業が増加してきております。また、事業変革に向けデジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みが加速し、働き方改革に伴うクラウドや生成AIの利用促進により、国内企業におけるDX投資の需要は堅調に推移してきました。特に、生成AIの実務活用の流れが急速に拡大しており、コスト削減や業務効率化、そして新たな働き方を創造するための最先端技術を活用した取り組みが活発化しております。

このような事業環境の中、当社グループは「そのビジネスに、伝える力を」をコンセプトとして、Webサイトコンテンツ管理システム「infoCMS」、および次世代CMS「LENSA Hub(レンサハブ)」を活用し、Web受託開発・SaaSサービスを主軸としたWebコーポレートコミュニケーションの総合支援を主事業としております。子会社である株式会社アイアクトからは、AI(人工知能)を利用したファイル・サイト内検索システム「Cogmo Search」、AIチャットボットシステム「Cogmo Attend」のサービスを提供するなど、自社開発のCMSやAI関連技術を用い、Webコーポレートコミュニケーションを通じて、業務効率向上、将来の事業変革へと繋がる業務改善支援やWebマーケティングなどの情報発信の総合支援サービスを提供する事業展開を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、AI推進室を新設し、AI技術を社内業務や制作開発に積極的に導入することで、業務プロセスを効率化する取り組みを実施しております。また、昨夏にリリースした次世代CMS『LENSA Hub(レンサハブ)』においては、メジャーバージョンアップを実施し、周辺プロダクトへのシームレスな連携やアシスト機能等を段階的に拡張するとともに、マーケティング活動を強化し、次の主力プロダクトとしての発展を目指しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は420,306千円(前年同四半期比2.1%減)、営業損失は66,219千円(前年同四半期は営業損失2,021千円)、経常損失は68,087千円(前年同四半期は経常損失3,289千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は87,999千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失17,776千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,882,190千円となり、前連結会計年度末と比較して175,321千円の減少となりました。流動資産は951,856千円となり、前連結会計年度末と比較して161,071千円の減少となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が194,907千円減少したこと等によるものであります。固定資産は930,333千円となり、前連結会計年度末と比較して14,250千円の減少となりました。これは、のれんが13,894千円減少したこと等によるものであります。流動負債は454,468千円となり、前連結会計年度末と比較して50,588千円の減少となりました。これは、未払法人税等が31,542千円減少したこと等によるものであります。固定負債は379,412千円となり、前連結会計年度末と比較して36,320千円の減少となりました。これは、長期借入金が27,454千円減少したこと等によるものであります。純資産は1,048,308千円となり、前連結会計年度末と比較して88,412千円の減少となりました。これは、利益剰余金が88,003千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日に発表しました2026年3月期の連結業績予想に変更はありません。